

総務省「インターネット上の偽・誤情報等への対策技術の開発・実証事業」 採択のお知らせ

SEARCHLIGHT株式会社は、総務省が公募した令和8年度「インターネット上の偽・誤情報等への対策技術の開発・実証事業」において、当社の提案が昨年度に引き続き採択されましたのでお知らせいたします。

本事業は、生成AIの進展等に伴い急増する偽・誤情報への社会的リスクに対応するため、最先端の真偽判定支援技術や信頼性保証技術等を開発・実装し、その効果・実現性を検証することを目的とし、総務省が主導するものです。

■ 採択事業の概要

- 事業名：令和8年度「インターネット上の偽・誤情報等への対策技術の開発・実証事業」
- 当社事業内容：長尺動画・短尺動画群を対象としたナラティブ分析と情報ワクチン生成技術の開発・実証

詳細につきましては、下記ページをご覧ください。

総務省：インターネット上の偽・誤情報等への対策技術の開発・実証事業（令和8年度）

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/d_syohi/taisakugijutsu_fy2026.html

■ 具体的なアプローチとゴール

本実証事業では、長尺および短尺動画群から拡散されるナラティブ（語り口や物語的な文脈）を横断的に分析し、誤解を招く論理構造を可視化する技術の開発を行います。さらに、抽出・分析された情報に基づき、偽情報に対する社会の抵抗力を事前に培う「情報ワクチン（プレバンキング）」を生成し、周知するためのユーザー支援技術の構築と実証を進めます。

本事業における「情報ワクチン」とは、「心理学的情報接種」という学術上の概念に基づいたものです。特定の情報について「真か偽か」を一方向的に押し付けたり、特定のイデオロギーを誘導したりするものではありません。「文脈の意図的な切り取り」や「感情を煽る論理展開」といった『情報操作の手口』を論理的に紐解き解説することで、情報を受け取る皆様が自ら情報の真偽を見極めるための認知的耐性（情報リテラシー・免疫）を高めることを目的としています。

本実証事業のゴールは、上記開発を通じて社会全体における認知的耐性の向上と偽・誤情報の抑制に貢献することです。政治的誘導や言論介入といった誤解を招かないよう社会的な受容性やリスクに十分配慮し、国際的な類似技術の動向も踏まえつつ、日本語動画言説に特化したシステムの段階的かつ着実な社会実装を目指します。将来的には、本技術の応用可能性を他領域にも拡大し、情報の健全性を支える新たな社会インフラとしての貢献を目指してまいります。

当社は、昨年度の「ストリーミング動画コンテンツの真偽検証支援ツールの開発・実証」で得られた知見を活かしつつ、本実証事業を通じて信頼性ある情報流通を支える新たな支援基盤の構築に尽力し、より健全なデジタル社会の実現に貢献してまいります。

本件に関するお問い合わせについては、[こちらのフォーム](#)からお願いいたします。